

基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

個別目標 1－1 心身の健康を維持・増進する

現状と課題

- ・高齢化の進行とともに健康への意識がいつそう高まっています。
- ・健康づくりの目的は、単に長く生きることではなく、健康寿命（健康で自立して生活することができる期間）を伸ばすことへと変化してきていると言われています。
- ・健康づくりの重要性を理解してもらうための普及啓発事業や、各種健康診査を受診しやすい環境づくり、感染症への対策など、より多くの市民が心身の健康を維持・増進できる施策に取り組んできました。
- ・がん検診については、種類、回数、場所を増やすなど特に重点的に取り組んできましたが、一部のがん検診については、受診率が伸び悩んでいます。
- ・自殺予防の取り組みとして、心の健康づくりにも取り組んだ結果、自殺者の割合は県平均を下回る状況となっていますが、目標としている水準までには至っていません。

取り組み方針

- ・今後も引き続き、市民一人ひとりが健康を意識し、健康づくりに取り組むための支援を行っていきます。
- ・がん検診や健康診査など各種検診の効果の検証や、個人、地域における健康課題の的確な把握により、効果的な施策を展開していきます。
- ・感染症などへの予防対策の効果的な啓発や予防接種の体制を整備し、接種率の増加を図ります。
- ・経年的かつ総合的な視点から自殺の現状を把握、分析し、自殺予防に向けた意識啓発やこころサポーターの養成など自殺の未然防止に取り組んでいきます。

写真、グラフ、データ

めざす成果 1

市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる

市民一人ひとりが健康づくりに取り組むとともに、自らの健康状態を把握し、健康管理に努めています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合	63.1%	〇〇%	〇〇%
肺がん検診受診率	15.0%	〇〇%	〇〇%

主な取り組み

- ・働く世代や子育て世代の市民に、各種検診の受診を促します。
- ・地域における健康づくりをリードする人材を育成します。
- ・食生活や健康維持増進のための講座の実施や地域活動団体の支援を行います。
- ・多様ながん検診や健康診査の機会の提供に努めます。
- ・健診後の事後指導等、早期治療につなげます。

めざす成果 2

心身の健康を維持・増進するための体制が整っている

感染症、食中毒の予防対策が進むとともに、効果的な自殺予防に取り組み、心身の健康が維持されています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
65 歳以上のインフルエンザ予防接種受診率	33.4%	〇〇%	〇〇%
自殺死亡率（人口 10 万人あたりの自殺死亡者数）	18.7%	〇〇%	〇〇%

主な取り組み

- ・65 歳以上のインフルエンザ予防接種の費用を助成します。
- ・感染症や食中毒に対する注意喚起を行います。
- ・自殺予防のための相談体制を充実します。
- ・自殺を未然に防ぐ風風を醸成します。

基本目標 3 安全と安心が感じられるまち

個別目標 3－2 生活の安全性を高める

現状と課題

- ・ 防犯に関する啓発活動や、青色回転灯装備車による防犯パトロールの実施など様々な防犯対策に取り組み犯罪発生件数は減少傾向にありますが、依然として、発生件数が県内では高い水準となっています。
- ・ 犯罪の不安がないまちをつくるためには、市民一人ひとりが防犯意識を高め、地域と行政が力を合わせて取り組む必要があります。
- ・ 交通安全については、交通安全教室の継続的な実施や、安全施設の計画的な整備を行っていますが、自転車利用者や高齢者の事故が多く、こうした事故を防ぐための対策が特に重要となっています。
- ・ 消費者利益の保護を図るため、一般相談や消費生活相談、商業施設の立ち入り検査などに取り組んできましたが、消費者問題以外の様々な相談件数が増加傾向にあります。

取り組み方針

- ・ 地域ごとに犯罪の種類や発生状況などの特性を把握し、状況に応じた対策を図ります。
- ・ 実演方式による交通安全教室の実施拡大など、事故の発生比率の高い自転車事故や子どもの交通事故の防止に向けた対策を推進します。
- ・ 高齢化の一層の進行に併せ、高齢者の事故防止に対する意識啓発を充実していきます。
- ・ 悪質商法や近隣トラブルなど日常生活での困りごとの相談件数の増加に対応できるよう、相談員の資質向上や市民が利用しやすい相談体制づくりなど、引き続き消費者保護施策の取り組みを推進します。

めざす成果 1

犯罪の不安を感じることなく暮らしている

地域での防犯活動が定着するとともに、市民の防犯意識が高まり、犯罪にあうことが少なくなっています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う市民の割合	46.0%	〇〇% 	〇〇% 
年間犯罪発生件数	2,841 件	〇〇件 	〇〇件 

主な取り組み

- ・ 地域や関係団体と協力し、防犯意識の啓発に努めます。
- ・ 犯罪が発生しにくくなる設備などを整備します。

めざす成果 2

交通事故の不安を感じることなく暮らしている

交通ルールに対する遵守意識が高まるとともに、安全施設の整備が進み、交通事故の発生件数が減少しています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
交通人身事故発生件数	1,344 件	〇〇件 	〇〇件 
交通安全教室等参加者数（イベントを除く）	16,253 人	〇〇人 	〇〇人 

主な取り組み

- ・ 地域や関係団体と協力し、交通安全の啓発に努めます。
- ・ 特に高齢者や子どもが関わる交通事故を防ぐ対策を推進します。
- ・ 交通利用者の安全を確保するための施設などを整備します。

めざす成果 3

安心して消費生活を送っている

食品や製品、サービスなどの消費生活に関する相談体制などが整っています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
消費生活相談の苦情件数のうち解決済みの割合	96.1%	〇〇% 	〇〇% 
家庭用品品質表示法・消費生活用製品安全法に係る立ち入り検査による適正表示の割合	100%	〇〇% 	〇〇% 

主な取り組み

- ・ 消費生活に関する問題について情報提供を行います。
- ・ トラブルに関し気軽に相談できる体制を維持します。